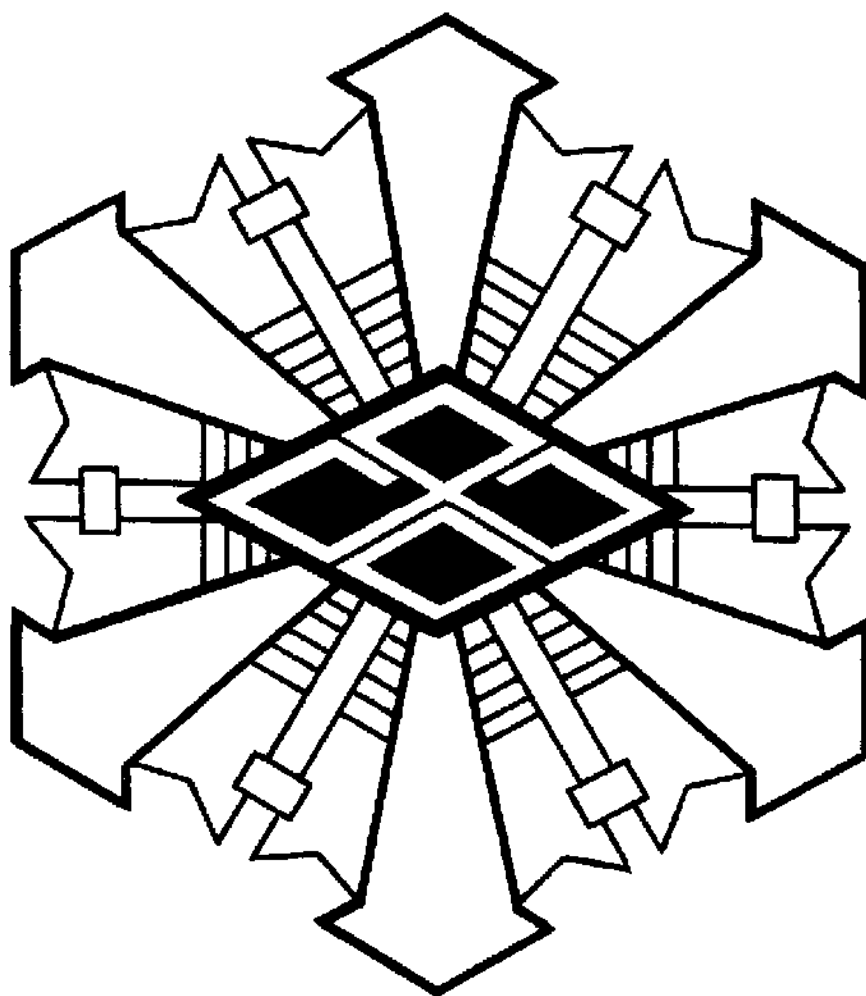


令和 7 年 版

消 防 年 報

第 6 0 号



各 務 原 市 消 防 本 部

位置・地勢

各務原市は、岐阜県の南部、濃尾平野の北部に位置し、岐阜市の中心部へ約8km、名古屋市へは30km圏内にあります。南には木曽川が東西に県境となって流れ、北部と東部は、標高200～300mの山を境にして関市、加茂郡坂祝町、西は岐阜市、南西部は羽島郡笠松町、岐南町に隣接し、市域面積は87.81km²あります。

地勢は、30～60mの各務原台地、7～20mの台地周辺平野、200～300mの北および東部丘陵地からなり、地質は、各務原台地が洪積層の黒ぼく土壌、その周辺部は、木曽川、長良川によって堆積された沖積層、北および東部丘陵地は、秩父古生層の砂岩、チャートなどの層からなっています。



各務原市民憲章

わたしたち各務原市民は
自然と文化財を守り、美しいまちをつくります。
教養を高め、文化の香りたかいまちをつくります。
健やかな心とからだで働き、活気のあるまちをつくります。
きまりを守り、助け合い、住みよいまちをつくります。
夢と安らぎのある、明るいまちをつくります。

本市の消防は、関係各位の格別なご指導、ご協力により組織、人員施設、装備とも着実に充実してまいりました。

しかしながら、近年の社会経済の発展と都市化の進展により災害要因も増大し発生する災害は益々複雑多様化、大規模化の傾向を示しております。

このような環境の変化や市民のニーズに的確に対応し「安全で住みよいまちづくり」を実現するため、消防組織の強化や施設装備の近代化への取り組みはもとより、救急業務の高度化対策を加えて本市の消防防災体制の一層の充実強化に努めています。

本書は、令和7年中の消防防災の概要を取りまとめたものでご高配を賜わり消防行政の一層の飛躍に向けて皆様のご理解と認識を深めていただく一助になれば幸いと存じます。

なお、特に記載してあるものを除き令和7年末をもって収録しました。

令和8年3月

各務原市消防長 会津 浩樹

第60号 消 防 年 報

目 次

	頁
各務原市消防のあゆみ	1-1
消防相互応援協定	2-1
消防情勢	
各務原市勢	3-1
市一般予算と消防予算との比較	3-1
消防予算の概要	3-2
消防機構図	3-3
消防現勢	3-4
消防吏員諸手当支給状況	3-5
在職年数別消防吏員数	3-5
年齢別消防吏員数	3-6
消防ポンプ自動車等現有台数	3-7
車輛一覧表	3-8
救助資機材一覧表	3-10
消防水利の現況	3-11
火災通報施設	3-11
消防配置図	3-12
各務原市消防団音楽隊分団	3-13
各務原市消防ボランティア隊	3-14
消防防災通信系統図	3-15
通信システム系統図	3-16
消防団	
消防団編成および装備	4-1
表彰記録	4-2
在職年数別消防団員数	4-3
年齢別消防団員数	4-4
消防団員年報酬額	4-5
費用弁償	4-5
消防団員退職報償金支給額	4-5
消防団機械一覧表	4-6
火災	
令和7年の主な火災	5-1
月別火災状況	5-2
地区別火災状況	5-3
曜日別火災状況	5-3
月別火災原因状況	5-4
用途別・原因別火災状況	5-5
時間別火災状況	5-6
覚知別火災状況	5-7
気象別火災状況	5-8
令和7年火災発生箇所	5-9

救急・救助

受付別出場件数	6-1
救急隊別活動状況	6-1
救急救護状況(程度・年齢別)	6-2
月別救急業務実施状況	6-3
救急救護状況(時間別)	6-4
救急救護状況(天候・曜日・地区)	6-5
地区別救急状況	6-6
曜日別救急状況	6-6
救急種別の比率推移	6-7
事故種別救助出動件数及び活動件数	6-8
事故種別救助人員及び車両別搬送人員	6-8
事故種別出動車両等台数	6-8
救命講習実施状況	6-9
その他の救命講習実施状況	6-9

予防・危険物・建築関係

防火対象物立入検査実施状況	7-1
用途別消防同意等状況	7-2
防火管理者選任状況	7-3
中高層建築物(4階以上)の現況表	7-4
火災予防条例に基づく届出状況	7-5
建築関係事務処理状況	7-6
危険物施設等の各種届出状況	7-7
地域別危険物施設設置状況・査察状況	7-8
月別危険物施設許可・検査状況	7-9
消防広報活動	7-10
高圧ガス保安法関係	7-11
火薬類取締法関係	7-12
液化石油ガス法関係	7-13
女性防火クラブ	7-14
幼年消防クラブ	7-15
少年防火クラブ	7-16

通信関係

救急情報システム案内状況	8-1
119番受信状況	8-2
テレホンサービス案内状況	8-2
緊急通報システム通報状況	8-3